

世帯と人口

(11月1日現在)

世帯 44,634 (+56)  
 人口 119,743人(+129)  
 男 61,084人(+15)  
 女 58,659人(+114)

# 広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎(046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

\*この広報は再生紙を使用しています。

「腕ならし」で芝崎さんたちが作ったしめ縄飾りに子どももうれしそう(小島さん方)



えびな模様…大谷から

## 「感謝の心」編み込んで

### しめ縄飾り教え続けて25年

早いもので、今年も新年まであとひと月。門松や鏡もちと並んで、お正月に欠かせないのがしめ縄飾りです。大谷在住の芝崎秋夫さん(76歳)・西山勝吉さん(74歳)・小島日出生さん(61歳)は、農業の傍ら、子どもたちや親子連れなどを対象に、しめ縄飾りの教室を25年以上も続けています。今月下旬に開催の教室に備え、お三方が家族を相手に腕ならしをしている現場へお邪魔しました。

「わらを縫り合わせ、それを縄に纏う。こうして纏ったしめ縄を、ウラジロの葉や橙、紅白の御幣などで飾れば完成です」と芝崎さん。以前は各家庭で、暮れの25・26日ごろになると縄い始めたそうです。

「しめ縄の心は『感謝』。だから玄関・物置・御手洗など、日ごろからお世話になっている場所へ飾るんです。昔は地元神社の御幣だけが飾りの質素なしめ縄でしたが、家同士で独自のデザインを秘密にしておき、亀の姿に纏うなどでその出来を競い合ったものでした」と、みなさん懐かしそうに話します。

時は流れ、新しい住民が増えた大谷地区。子どものしめ縄への関心も薄いのでは、と尋ねると「毎年大勢参加しています。出来上がりは縫りや縄いがすれてしまい、こちらで直してあげる場合がほとんど。でも、自分で作ることがうれしいから、あつがゆい」と、熱い気持ちで話します。

「教えた子が『お礼に』とくれました」と見せてくれたのは、ドライフラワーで飾られたリースのようなしめ縄。「今の子は作り方も自分流。でも、子どもなりに『感謝』の心をこめて、いいしめ縄を作っていますよ。今度は私が教わるようかなあ」。芝崎さんたちのしめ縄作りは、変わらぬ感謝を編み込みながら、これからも子どもたちへ確実に広がり続けることでしょう。

### 大谷アラカルト

◎人口(11月1日現在)  
8,488人  
(男4,318人・女4,170人)

◎世帯  
2,899世帯

◎面積  
2.09平方キロメートル  
【市全面積 26.48平方キロメートル】

◎地名の由来  
東側の丘陵部から西側の海老名耕地へ広がる「大きな谷」の意に由来するとされる。地内の遺跡(9世紀中ごろ)から出土の土器に「大宅」と墨書があることから推測する説もある。